

■ 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

僕は子どもの頃、作文が苦手でした。(1) _____、自分の気持ちを文章に書いて人に見せるということにどこことなく恥ずかしさを感じていたからです。(2) _____、人に命じられて文章を書かされるということに対しての反発の気持ちもあったのかもしれない。その結果、作文の授業中はじっと何もせずに席に座っていることが多くなってしまいました。(3) _____、大人になってからの僕は文章を書くことが大好きになりました。(4) _____、文章を書くことで人に自分の気持ちを伝えることが楽しくなっています。不思議なものですね。(5) _____幼い頃から大好きだった体育については、大人になった今でも同じく大好きです。休みの日には近所の体育館でよく運動をしています。

ア ところどころ イ というのも ウ また エ むしろ オ ところが

2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次の力～ロから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

物事を身につけるには基本の習得と反復練習が重要です。(6) _____ 水泳を例にとってみましょう。(7) _____ 先生やコーチから正しい泳ぎ方を教わることです。この段階ではゆっくりとていねいに正確に正しいフォームを身につけることが重要です。(8) _____ フォームが固まってきたら、そのフォームで繰り返し泳いでみることです。ここでは量をこなしていくことが大切です。わざわざ意識しなくても自然に身体が動くようになるまでひたすら繰り返しましょう。(9) _____ それをもっとスピーディーにできるように意識しながら、さらに反復練習を重ねます。こうすることであなたはきっと水泳がうまくなるでしょう。実はこのお話は皆さんが国語や算数などの学校の勉強をするときにも共通している



ことです。

(10)

物事を身につけるには基本の習得と反復練習が重要なのです。

カ
まずは

キ
次に

ク
最後に

ケ
とにかく

コ
たとえば

接続語 レベル2

日	前
月	名

1 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

「それは理想にすぎない」というような言葉で若者を批判する者がいる。(1) 若者は時に実現不可能に見える理想を言うものだ。(2) 私はこう思う。若者が理想を追求しなかったら誰が理想を追求するのだろう。人類は原始時代から現代に至るまで少しずつ進歩・発展を重ねてきた。たとえば鳥のように空を飛びたいという一見すると実現不可能な理想を追求し続けたからこそ、飛行機という偉大なる発明がなされたのである。いけば理想を追い続けるからこそ進歩・発展があるのだ。(3) 理想を追う若者を批判する者は、これ以上人類の進歩発展は不要であると表明しているようなものである。(4) 、理想を述べるだけで実現にむけて何らの努力もしない若者については私も批判したい。(5) それでは文句ばかり言って行動できない老人と何ら変わりがないからである。

ア だから イ 確かに ウ だが エ なぜなら オ ただし

2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次のカ～コから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

「分析」という言葉の意味を知っていますか。「分析」とは「部分や要素に分けて考える」ということです。(6) 、ここに四角形があるとします。辺を一つ一つ測ってみましょう。辺Aは4cm、辺Bも4cmと測っていくと4辺すべてが4cmでした。また角も測ってみます。角Aは90度、角Bも90度と測っていくと4つの角すべてが90度でした。これが「分析」ということですが、このままでは単に辺や角についてのデータがバラバラにあるだけです。(7) 必要な作業が「総合」です。「総合」というのは「個々別々のも



のを一つに合わせてまとめること」です。「この四角形は角がすべて90度(8) 辺の長さがすべて等しい四角形である。(9) これは正方形である」というようなことをするのが「総合」です。この「分析」と「総合」をうまく使いこなせるようになれば、

(10) 子供であっても論理的にもものを考えることができるようになります。

カ かつ キ たとえば ク したがって ケ たとえ コ 次に

■ 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

最近、電車に乗るたびに気になっていることがある。それは乗客のほとんどがスマホを操作することに夢中になっていることだ。(1) イヤホンで耳を塞いでいる者も少ない。彼らは完全に自己の世界に没入しており、同じ車両に乗っている他の乗客に対して全く関心がないように見える。(2) 彼らが人と関わることを極端に嫌う非社交的な人間であるというわけではない。(3) 彼らのスマホ操作の多くはインスタグラムやツイッター、ラインなどのいわゆるSNS(ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス)の閲覧や書き込み、返信などのためのものだからだ。これらのSNSは他者とのつながりなくして成立しないものである。いわば社交のための道具である。(4) 彼らを人間嫌いと呼ぶことはできない。とはいえ彼らがたまたま電車で乗り合わせただけの赤の他人に関心がないということは間違いない。(5) 、彼らは既に知っている人、既に知っていることにしか関心がないのだ。もしこれが現代人に共通の特徴であるならばなんとも悲しいことである。

ア しかも イ 言うなれば ウ だが エ なぜなら オ だから

2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次の力～ロから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

歴史は見方次第でどのようにも書くことができます。だから作家が歴史上の人物を小説に書く場合、その人物をどのように見るかで小説の内容も変わってきます。(6) 、源義経を書くとするれば、義経は英雄であるという見方で書いても、愚か者であるという見方で書いてもよいのです。しかも作家によって義経をどのような人物として見るかは様々



です。
〔7〕 源義経を誰が何度小説に書いてもよく、実際にそうされてきました。とはいえ、読者の側にもそれなりの知識というものはありますから、あまりにもでたらめな義経が出てきては読者の心はつかめません。しかし一方で、〔8〕 歴史的事実と合致〔8〕 していても読者の求める義経像とかけ離れていては読者は不満を抱くもので、これは大変難しい問題です。最近の歴史小説やドラマは歴史的事実からかけ離れないように細心の注意が払われていますが、〔9〕 それによって面白みが欠けるものが多いように感じます。〔10〕 歴史的事実を無視するくらいの大胆な作品が読みたくなるのは私だけでしょうか。

カ あえて

キ かえって

ク たとえば

ケ したがって

コ たとえ

接続語 レベル4

日 前
月 名

1 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

吉川英治の小説『宮本武蔵』にこんなお話があります。剣豪である宮本武蔵はある時、槍の達人たちと勝負をしようとすさまじい殺気を放ちながら歩いていました。その途上で武蔵は畑仕事をしている老僧を目撃したのですが、武蔵はその老僧の視線が、じっと自分の足下を射ているように感じて、思わず九尺(約2・7メートル)も横を跳んで通ってしまいました。その後、武蔵は老僧本人から聞かされました。「武蔵が既に発していた殺気を感じた老僧は、それに対して心に武装をもったに過ぎず、武蔵が老人に感じた殺気は(1)武蔵自身の影法師であった」と。(2)「武蔵は自分の殺気に自分で飛び退いただけだ」というのです。僕は身につまされる思いがしました。(3)、僕の方に攻撃的な気持ちがあったせいで、相手も僕に攻撃的な態度を取ってきたという経験は僕にもあったからです。目の前の人の態度が攻撃的だと感じたときは自分が相手に対して攻撃的な態度を取っていないか反省しないといけません。(4)、こちらが相手に対して友好的な態度を取ること、相手からも友好的な態度を引き出せるということです。目の前にいる人は(5)鏡に映った自分のようなものです。

ア むしろ イ 逆に考えれば ウ なぜなら エ あたかも オ 要するに

2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次のカ～コから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

数年前、ウミガメの鼻からプラスチック製のストローを10分近くかけて引っ張り出す動画が話題となりました。これを機にストローの廃止が世界的なムーブメントになりつつ



あります。

(6)

問題はストローに限ったことではありません。

(7)

死亡漂着

したウミガメを解剖するとお腹の中からスーパーの袋のようなプラスチックが何枚も出てくる可能性があります。

(8)

知っておいてほしいことがあります。私たちの生活の様々

な場面で利用されているプラスチックは、多くの場合、使い捨てられ処理されないまま環境中に流出し、ほとんどが最終的に海に行き着きます。このプラスチックは波や紫外線等の影響によって、やがて小さなプラスチックの粒子となります。5ミリメートル以下になったプラスチックは、マイクロプラスチックと呼ばれます。このマイクロプラスチックを食べた海の生物を魚が食べ、その魚を人間が食べてしまうことも充分にあり得る話なのです。マイクロプラスチックが人体に及ぼす影響については未知数ですが、(9) 気持ちの良い話でないことは間違いありません。私たち人類も地球上に生きる生物の一つです。(10) 、ウミガメに起こっている問題は私たちにも起こり得る問題なのです。単にウミガメがかわいそうだという問題ではないのです。

カ たとえば

キ けれども

ク 決して

ケ そうである以上

コ さらに

接続語 レベル5

名前 _____ 日 前 _____

■ 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

「交易」とは互いに品物の交換や売買をすることを言います。(1) ある国に狩猟中心の生活をしているA部族と、農業中心の生活をしているB部族がいます。A部族は自分たちが狩猟で得た獲物を、ある木の下に置いて姿を消します。(2) その木の下にB部族がやって来てこれを受け取り、そこに代わりの品となる農産物を置いて去ります。しばらくしてA部族がそこにやって来てその農産物を受け取ります。(3) A部族とB部族は互いに顔を合わせず、言葉を交わすことなく品物を交換することができま すね。このような交易の方法を「沈黙交易」と言います。(4) _____、現代社会に生きる我々 がこのような方式の「交易」を行っているでしょうか。答えはノーです。(5) _____ 我々 には「お金」という交換の手段があるからです。現代社会に生きる我々はお金を使うこと によって、会ったこともない人が作った農作物や、話したこともない国の人が獲った魚を 手に入れることができるのです。

ア こうすることで イ さて ウ なぜなら エ 仮に オ やがて

2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次の力～ロから選び、記号で書き入れ ましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

心身二元論という考えがあります。(6) _____ 精神(心)と身体を別のものと考えて、 身体は精神によって支配されるとする考えです。この考えに基づけば、精神について研究 することで、人間を理解できることになります。(7) _____ 心身二元論では人間を完全に 理解することはできません。(8) _____ 心身二元論に当てはまらない場面は日常生活にい くらでもあるからです。(9) _____ 皆さんは「気持ち沈んでいる時に身体がどことなく



重い」というようなことを経験したことがありますか。これは精神（心）と身体が密接みっせつに結びついていることの証拠です。(10) 心身二元論に基づもとづくことで科学や医学は発達しましたが、人間を正しく理解するには、精神と身体を切り離はなさずに一体のものとして捉える発想も必要なのです。

カ 確かに キでも クすなわち ケたとえば コというのも

接続語 レベル6

名前 _____ 日 前 _____

1 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

親は子どもに対して時に厳しく接しなければならぬ。(1) _____、子どもは甘えを捨てて自立することはできないであろう。(2) _____、最近の親は子どもに対して、

(3) _____友人にでも接するかのような親しげな態度ばかりを取っており、私などはとても見てはおられない。(4) _____最近の親は子どもを甘やかすのだろうか。よくいえば「やさしさ」ということなのであるが、この「やさしさ」はいったい誰に向けた「やさしさ」

なのであろうか。私はこう思う。最近の親は子どもに対して「やさしい」のではない。実のところ彼らは子どもに嫌われたくないだけなのだ。厳しいことを言って子どもに嫌われることを恐れているのだ。(5) _____、彼らの「やさしさ」は子どもに向けてのものではなく、何の事はない親自身に向けた「やさしさ」なのである。

ア まるで イ だが ウ どうして エ つまり オ さもなければ

2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次の力～から選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

梅は長らく庭木、盆栽として観賞され、その実は食べ物や薬として利用されてきました。一方で梅は文化的側面でも古くから日本人と関わりを持ってきました。(6) _____『万葉集』では梅は一一八首に歌われ、これは桜の約三倍にあたり、植物のうち最多である萩に

つぐ多さです。天平二年(七三〇年)正月十三日、大宰帥(だざいのそち)であった大伴旅人が客人を集めて催した宴で詠まれた三十二首の梅の花の歌も『万葉集』(巻五)に載せられています。(7) _____この三十二首の序文にある「初春の令月にして、気淑(よ)

く風和らぎ」(初春のよい月で、空気は清く風はやわらかにそよぐ)という表現が新元号「令



和」の出典となっています。

(8)

菅原道真が延喜元年(九〇一年)に九州の大宰府(だ

ざいふ)へ流された際、庭の梅に「東風(こち)吹かばにほひおこせよ梅の花あるじなし
とて春な忘れそ」という惜別の歌を詠んだことも有名です。この歌の上の句「東風吹かば
にほひおこせよ梅の花」は「もし春になって東風が吹いたなら、その香りを送ってくれ梅
の花よ」という意味で、下の句「あるじなしとて春な忘れそ」は「主人である私がない
からといって春を忘れるな」という意味です。

(9)

、こんなふうには日本人に愛され
てきた梅ですが、梅に被害を及ぼす病気は数多く存在します。平成二十一年、東京都青梅
市では梅がプラムポックスウイルスという病気に感染してしまい、国による緊急防除対策
が行われた結果、市内全域で四万本以上が伐採されてしまったのは
とでした。

(10)

残念なこ

か たとえば

キ また

ク ちなみに

ケ 大変

コ ところで

接続語 レベル7

名前 _____ 日 前 _____

■ 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

「相対主義」という言葉があります。これは「絶対的な正しさではなく、どのような立場もそれなりに正しい」と主張する考えのことです。(1) _____、あなたの友達のA君が「ピーマンはまずい」と主張したとします。この時、(2) _____あなたが「ピーマンはおいしい」と考えていたとしても、A君の立場も認める。これが「相対主義」です。(3) _____、「ピーマンはまずい」という立場も正しく、「ピーマンはおいしい」という立場も正しいとすることが「相対主義」なのです。現代は交通機関やインターネットも発達し、世界中で様々な文化や異なった価値観を持った人同士が接し合う時代です。今後は(4) _____「相対主義」が大切なものになっていくことでしょう。(5) _____「相対主義」には少々厄介な問題が伴います。それは「どのような立場も正しい」という考えはどこまで認めるべきかという問題です。こんな場合はどうでしょうか。B国が自分達の正義を信じて、隣国であるC国に攻撃を仕掛けてたくさんの人々の命が奪われたとします。こういった場合であっても、私たちは「相対主義」に立って「B国の立場も正しい」と言うべきなのでしょうか。これは大変難しい問題です。

ア たとえ イ たとえ ウ ますます エ その一方で オ 言い換えれば

2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次のカ～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

昔々の中国にこんなお話があります。景公という王様が馬を所有していました。(6) _____ある時、馬の飼育係が誤って王様の馬を死なせてしまいました。(7) _____怒った王様は自ら武器を手にして、飼育係を殺そうとしました。いくら王様であっても、このような理



由で人を殺してしまうのはひどい話ですね。この時、王様にお仕えしていた臣下の一人である晏子あんしという人は「どうせならこいつに罪をよく解わからせた上で私が処刑しよけいしましょう」と述べて、武器を手にして飼育係にこう言い放ちました。「お前のせいで『景公はたかが馬程度ていどのことで人を殺すような王様だ』という悪評ひょうが立つのだぞ、飼育係よ、お前は罪深いやつだ」と。この言葉を聞いた王様は我われに返って自分の行為いの愚おろかかしさに気づいて処刑をやめたそうです。でも、もしも晏子が王様を直接たしなめるようなことをしていたら晏子も一緒に処刑されていたかもしれません。(8) 、冷静な判断力はんだんを失っている人に面と向かって正論ちろんを言ってもなかなか聞き入れてもらえないものだからです。アメリカ出身の作家であるデール・カーネギー氏も一九三七年に発売された著書『人を動かす』の中で「人は押し付けられた意見より自分で思いついた意見を大切にす。暗示じを与えるだけで、結論は相手に出させるのがよい」との旨むねを述べています。(9) これは古代中国や20世紀のアメリカだけでなく、現代の日本社会においても役立つ考え方であることは言うまでもありません。(10) 人間の普遍的性質ふへんせいしつと言ってもよいでしょう。

カ ところが キ いわば ク そこで ケ なぜなら コ もちろん

1 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

日常の中で感じたちよつとした疑問をうやむやにせず、深く探究していくことはとても大事なことです。たとえば、(1) 子どもは学校に行かなければならないのでしょうか。「だって、そう決められているから」で終わらせずにもう少しよく調べてみると、いろいろな面白い説に出会えることもあります。こんなことが言われています。(2)、古代や中世と呼ばれた時代、子どもは学校に行くこともなく、大人とともに小さい頃から一緒に働いていました。それがやがて近代という時代を迎えます。近代は理性を重視する時代と言われます。理性とは論理的に物事を正しくとらえる力のことです。(3) 子どもというのは往々にして理性的ではありません。感情に任せて暴れたり、筋の通らないことを言っただだをこねたりします。理性重視の社会にそのような存在が紛れ込んでいては面倒ですね。(4) 近代の人々は、子どもという非理性的存在を一つの場所に閉じ込めて、理性的な振る舞いができるように訓練することにしました。それが学校という空間の始まりだったとも言われるのです。こんなふうに日常のちよつとした疑問をうやむやにせず、深く探究していくことでいろいろな学びが得られます。(5) 疑問こそ学びの原点なのです。

ア だから イ つまり ウ どうして エ かつて オ ところが

2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次のカ～コから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

「空気を読む」という言葉は「その場の雰囲気から状況を推し量る」という意味で使わ



れている。日本人は空気を読んで行動することを美德とくと考える傾向けいがあるように思う。

(6) その場がどういった場であるかを察して、それにふさわしい行動をすること自体は悪いことではない。

(7) 、空気を読むことによって、真実が覆おほい隠かくされるようなことがあれば問題である。

(8) 、ある企業の幹部かんの汚職おしよくに部下たちが気づいていながら、空気を読んでそれを公けにしないなどということは決して許ゆるされてはならない。

このような悪い形での「空気を読む」の背後はにあるのは大概たいてい「同調圧力あつ」である。(9) 、

集団の中で、少数意見を持つ人に対して、周囲の多くの人と同じように考え行動するよう
に暗黙もくのうちに強制せ制することである。この「同調圧力」が作動しないようするには、集団
は多様な成員によって編成されることが理想的である。

(10) 「空気を読まない」メンバーの存在が重要なのである。

カ 確かに キ しかし ク とりわけ ケ すなわち コ たとえば

接続語 レベル9

日 前
月 名

■ 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

朝から晩まで会社で過すごしてきて、自分の住む地域の人たちと(1) 関わりを持つていなかったような人が、定年退職などをきっかけに地域の活動に参加するようになることを「地域デビュー」と呼びます。この「地域デビュー」をうまくできる人もいれば、うまくできない人もいます。たとえば、こんな例があります。一流企業で長年にわたって部長職を務めたFさんは定年退職後に「地域デビュー」の時を迎え、あるボランティアサークルに参加しました。Fさんはサークルのメンバーにいきなり「元*社*部長F」とかつての肩書き付きの名刺を配り出しました。(2) サークルの運営についても、「一流企業で部長を務めた自分が根本から改革する」と意気込みを見せました。(3) 、サークルのメンバーの中からFさんへの反発心を持つ人がたくさん現れました。(4) Fさんはもう部長ではありませんし、決して組織改革を託されて呼ばれたわけでもないからです。人間は一つの場合でずっと生き続けていくことはできませんし、同じ立場、同じキャラクターでい続けることもできません。(5) それは悲しいことではありません。変化はチャンスです。新しい場、新しい自分に出会えることは素晴らしいことです。そして、この話は定年退職を迎えたFさんのような年配者だけに当てはまることではありません。多様な自分の可能性の追求が大事なものは若い人でも同じです。つまり万人にとって重要なのです。

- ア また イ だけど ウ ほとんど エ その結果 オ なぜなら



2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次の力くから選び、記号で書き入れ
ましよう。(同じ記号は一度しか使えません)

「今の子どもはキレイやすい」などとよく言われます。(6)ごく普通に見える少年
が学校で突然にナイフを持って暴れ出した事件などがよくニュースで報じられています。

(7) 本当に「今の子どもはキレイやすい」と言い方は正しいのでしょうか。僕には
はいくつか気になる点があります。僕たち大人が子どもだった昭和の時代はある意味でひ
どい時代でした。子どもは近所の空き地で野球をして窓ガラスを割ったり、散々ケンカを
して相手を泣かせたり、泣かされたりもしました。一方で、大人も子どもをゲンコツ
で殴って体罰を加えてくるし、怒鳴りつけられることも日常茶飯事でした。それに比べれ
ば、今の子どもは本当にいい子が多いし、大人も紳士的で優しい人たちが多いと思います。
あの頃のことを思い出しながら僕は思うのです。昔の人は毎日少しずつ、人間の奥底にあ
る凶暴な気持ちを小出しにしていたんじゃないかと。すなわち「毎日少しずつキレイていた」
とも言えます。でも今の社会はそういったことがなかなか許されません。(8) 子ど
もの心の中にたまり続けた凶暴な気持ちがある日限界に達し爆発して大きく「キレイて」
しまうんじゃないかと感じます。さらによく考えてみれば、僕には今の社会では大人もよ
く爆発して「キレイて」いるように思えます。たとえば一見普通のおじさんが街中で声を荒
げて怒っている場面など珍しいことではありません。おじさんも凶暴な気持ちをためこん
で、ある日突然爆発しているという点では同様です。(9) 「今の子どもはキレイやすい」
ことについて、僕は二つの点を指摘したいのです。一つは「昔の子どもは日々キレイていた」
という点。言い換えれば「昔も今も子どもはキレイやすかった」ということになります。

(10) 「今は大人もキレイやすい」という点です。言い換えれば「今は大人も子ども
キレイやすい」ということになります。

カ もう一つは キ だから ク つまり ケ たとえば コ でも

■ 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

僕たちは知らず知らずのうちにたくさんの暗黙の前提を共有しています。だからこそこの世の中はスムーズに運行します。(1) ジャンケンというゲームがあります。グー

はチョキに勝ち、チョキはパーに勝ち、パーはグーに勝つ。そういうルールをお互いにわかっているからこそ、僕たちは何の問題もなくジャンケンをすることができのです。

(2) 、仮にグーはパーに勝ち、パーはチョキに勝ち、チョキはグーに勝つというルールのジャンケンがあったとします。このようなジャンケンを「逆転ジャンケン」と名付けておきますが、この「逆転ジャンケン」であっても参加する全員がそのルールを前提として身につけてさえいれば何の問題もなくゲームは成立してしまうのです。(3) 、

ここで皆さんに考えてほしいのは「普通のジャンケン」と「逆転ジャンケン」のどちらが正しいかということです。確かに僕たちは「普通のジャンケン」に慣れ親しんでいます。でも「逆転ジャンケン」は間違いだとは言えません。(4) 「逆転ジャンケン」はそ

ういうルールのゲームであるということに過ぎないのですから。僕たちはたまたま「普通のジャンケン」を前提としている世界に生きている。(5) 、僕たちはたまたま「逆

転ジャンケン」を前提としていない世界に生きている。ただそれだけのことです。つまり、ルールはそれが前提として共有されているからルールとして機能しているに過ぎません。これを忘れてはいけません。

ア ところが イ 逆に言えば ウ さて エ たたとえば オ なぜなら



2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次の力く「」から選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

(6) 「戦争を知らない子供たち」というタイトルの歌が流行した。一九七〇年に発表された歌である。この歌のタイトルの意味することが、現代の若者たちに理解できているだろうか。「戦争を知らない子供たち」の対極にはその当時「戦争を知っている大人たち」がいたのである。ここには二つの世代の間の価値観の相違や衝突などが含まれていたのだ。ところが、幸か不幸か、21世紀の日本の大人の大半は戦争を知らない。すなわち(7)大人も子供も戦争を知らないのである。現代の若者にこの歌のタイトルはどのように響くのであろうか。(8)『書を捨てよ、町へ出よう』というタイトルの本がある。一九六七年に詩人・劇作家として知られる寺山修司が発表した本であり、一九七一年には同名の映画も公開された。こちらのタイトルには「書ばかり読んで町へ出よう」としない若者の存在が暗示されている。「若者の読書はなれ」などと言われる昨今、こちらのタイトルもその真意が理解されなさそうである。歌のタイトル、本のタイトル、映画のタイトル。(9) タイトルというのは作品の名前である。そもそも、ものの名前は、あるものと別のものを区別するために機能する。洗濯機という名はその物体が冷蔵庫とは別の存在であることを示し、ネコという名はその動物がトラと別の存在であることを示す。もちろんタイトルも名前である以上、ある作品と別の作品とを区別する機能を持つ。(10) それとは別にタイトルというものが、ある時代の空気を吸い取って、作品同士の区別に終わらない独特の意味を帯びてしまっていることに私は興味をそそられている。

カ 今や キ かつて ク いずれにせよ ケ また コ だが